年	日本同盟同盟教団	日本のキリスト教会	日本の社会
1889			大日本帝国憲法発布(2・11)
1890	F・フランソン、スカンジナビアン・アライアンス・ミッション・オブ・ノースアメリカ(S.A.M.)創設		教育勅語発布(10・30)
1891	ヤルマール・リンドストロム以下15名の宣教師来日(サンフランシスコ発11・3、横浜着11・22)。福音教会のG・E・ディーンスト(築地44番)を頼り、男性は築地51番、女性は32番に滞在。14人は、カール・E・アウレル、セルマ・M・エングストロム、グスタフ・F・ジョンソン、エドラ・C・カールソン、ビクター・E・ヘッドベルグ、アンナ・セットランド、ハンナ・アンダーソン、O・A・シーホルム、アルベルチーナ・ジョセフィーン・ピーターソン、アウグスト・スコグルンド、クリスチーナ・L・ジョンソン、クリスチーナ・エングストロム、アンナ・ダニエルソ 最初の集会で入信した若い学生2人が受洗(12・25)	内村鑑三不敬事件(1・9)	濃尾大地震(10・28)
1892	アイヌ伝道を検討。C・エングストロム、エドラ・カールソン、赤坂氷川町のW・N・ホイットニーの支援を受け麻布谷町、深川小名木川で遊郭や路上生活者への伝道を開始(年 M・エングストロム、福音教会ナイツ夫人の看病により天然痘で召天(2・26、19歳) M・エングストロム記念会、各地の伝道に出発のため送別会、本格伝道開始(3・16) G.ジョンソン、スコグルンド濃尾地震被災地、岐阜の竹ヶ鼻へ、シーホルム神戸へ出発 聖書之友春期大会(日暮里村花見寺)でラング、津田仙、本多庸一らと演説、スエーデンの音楽演奏(5・7) 大阪基督教青年会の慈善大音楽会(土佐堀青年会館)でスエーデン人ギター演奏(5・ 青森美以教会でシーホルム、リンドストロム説教(5・30) ハンナ・アンダーソン、アンナ・ダニエルソン等女性4人、男性2人が神戸で伝道(6～7月 ミッションの責任者リンドストロムは赤坂氷川町17番6号宮嶋方に在住(10・) グスタフ・F・ジョンソン、スコグルンド佐貫に伝道(10・) ジョン・R・バークランド夫妻、マーガレット・ジョンソン、ハンナ・クリステンソン来日(秋？)	熊本洋学校事件(1・11) フレンド派、北村透谷主筆『平和』創刊(3・15) 「宗教と教育との関係につき井上哲次郎氏の談話」 この年、フリー・メソジスト伝道開始	予戒令施行、選挙干渉(1・28) 第2回総選挙(2・15) 『万朝報』創刊(11・1)
1893	伝道地は東京(麻布谷町・小名木川)、上総佐貫、神戸、敦賀、鎌倉。大島に伝道計画 ホイットニーの支援を受け、アルベルチーナ・J・ピーターソン鎌倉伝道(2・報告～1900・ エングストロム赤坂氷川町26番(2・) リンドストロム麻布谷町から安房天津に移動、谷町はバークランド、エングストロム、カールソン(3・頃)。白金の魚籃坂下、芝の松坂町にも講義所、いずれも貧民街 佐貫に教会設立(3・頃)、盛況(『基督教新聞』9・8) グスタフ・F・ジョンソン佐貫で伝道、9つの町村で毎週25集会、11人が受洗(4月報告) ベルグストロム来日(6・)、ジョンソンと交替(7・) ビクター・ヘッドベルク、セルマ・M・エングストロム結婚(6・24)神戸で伝道 佐貫八幡でスコグルンドから田丸(萬木)源次郎ら4人受洗、初の聖餐(8・20) 築地美以教会の小方仙之、佐貫応援(8・24) アウレル上総湊(天羽)伝道(8・頃) グスタフ・F・ジョンソン鎌倉伝道の後帰国(11・26) この年、H・アンダーソン、M・ジョンソン船橋で伝道開始。アウレルはハンナ・クリステンソンと結婚。年間受洗者は35、日本人教師1、宣教師15、補助伝道者12、神学生2(『基督	内村鑑三『基督信徒の慰』(2・25) 井上哲次郎『教育ト宗教ノ衝突』(4・10) 第1回基督信徒共励会開催(7・6～7) この年、田村直臣"The Japanese Bride"を米国で刊行	祝日・大祝日儀式に「君が代」
1894	田丸源次郎、神戸のシーホルムに学び、本所のアンナ・セットランドの補助伝道者となる ジョン・R・バークランド夫妻、リンドストロム、クリスチーナ・エングストロム退職願(3・2) 4人の退職とメラーの休暇で宣教師は14人、宣教地は7ヵ所、日本語のチラシを作成	神田に東京基督教青年会館献堂(5・5) 清韓事件日本基督教徒同志会結成(8・) フレンド派分裂(10・4)	東京で直下型地震(6・20) 日清戦争(宣戦布告8・1) 北里柴三郎ペスト菌発見(8・25)

年	日本同盟同盟教団	日本のキリスト教会	日本の社会
	本所太平町、深川猿江、大島村に伝道所。ヘッドベルク、船橋から移動したH・アンダーソン、M・ジョンソンの後を受けて行徳で伝道(9・)。ヘッドベルク夫妻は2週間ごとに移動 フランソン初来日(9・28長崎着～12・26)。フランソン飛騨を10日間旅行し伝道地とする フランソン東京着(11・3)、本所柳島町セットランド担任教会(11・4)、深川本村ダニエルソン宅(11・5)で演説、行徳、船橋を経て千葉港町、佐貫、鎌倉を伝道し12日帰京 フランソン、宣教師・通訳者と伝道方針を論議(11・13)、「聖書之友」第11回年会でフルベッキ、堀貞一、美山貫一と共に演説(11・17)。2週間の修養会、スウェーデン語で説教し、上海に向かい離日(12・26) A・ダニエルソン、田丸源次郎、高山伝道(11・) フランソンによると講義所12、小伝道所30、日曜学校700人、伝道補助者14人、これまでの受洗者60人。この年、ベルグストロム大島波浮の秋廣傳之助宅で半年間伝道か。	慰廃園、目黒に設立(10・13)	
1895	ベルグストロム(船津)、A・ダニエルソン・田丸源次郎(高山)。アウレル(郡上八幡)は3ヶ月の滞在の後、妻ハンナの任地である船橋に移動 ベルグストロム船津大火で救援に活躍、信頼を得る(5・6)。 基督友会の岡崎義孝(押上)が伝道師として加入(4・1～1896年船橋、1999年友会に復 フランソン再来日(6・～3週間滞在)、有馬で説教、船橋でミッションの協議会、ベルグストロムとE・カールソンの結婚式 ヘッドベルク一家帰国、行徳はH・アンダーソンと永井寅太郎が後継(7・) バルグストロム古川に移動、飛騨で最初の洗礼式(白川亀次郎ら4人、7・14) ベルグストロム高山に移動、フランソンの立会の下、E・カールソンと結婚(8・17)榊原 高山で基督教大演説会(10・17、来会者2000人)、郡上八幡のH・アンダーソン、ジョンソン来援。五十嵐喜広はベルグストムと別れ飛濃育児院に専心 宣教師10人、日本人教師8人、伝道所8、小伝道所21、受洗者95人(年末統計)	山室軍平・救世軍入隊(12・)	下関講和条約(4・11)三国干渉
1896	田丸源次郎東京に戻り、築地福音神学校入学(～89年2月)、アウレルの伝道を助け 前年夏に伝道を開始した幕張に会堂兼教師住宅完成、東部春季会で「日本同盟基督教会」の名称提案(2・1) 伝道拠点9ヶ所、日曜学校19校810人、聖書学校1校16人、ミッション管理下の受洗者54人(4・14) 行徳で東部夏季会、教会名称「日本同盟基督教会」とする(5・1) 鎌倉由比ヶ浜でアウレルによる浸礼式(5名) 幕張安息日学校生徒運動会(50人、権現山6・18) 本所押上安息日学校生徒運動会(63人、東叡山6・21) アウレル一時帰国(9・24～1900・2・16) アウエルの後任として小梅町にA・ダニエルソン(10・8) 小梅町同盟基督教会献堂(10・28) この年、行徳の永井寅太郎、東部の書記として活動。M・ジョンソン一時帰国	日本基督教会・台湾伝道開始(6・)	台湾総督府条例公布(3・31) 三陸大津波(6・15)
1897	エレン・バークランド中国から転任(2・)、J・R・アームストロング来日(小梅町) 小梅町婦人伝道者布広つね子。船橋(五日市町)はH・アンダーソンと岡崎義孝	内村鑑三『後世への最大遺物』(7・15)	足尾鉱毒被害者請願(3・3)
1898	田丸源次郎は学業を修めC・L・ジョンソンの美濃郡上八幡町に赴任(3・～99・9)、C・L・ジョンソン帰国(11・4) この年、一時帰国した後、アンナ・セットランドは伊東でも伝道を開始 高山の佐々木正懿、ベルグストロムから受洗(12・28)	留岡幸助巣鴨監獄教誨師となる(9・5) 片岡健吉衆議院議長(～1903)	憲政党結成(6・22)
1899	船橋の岡崎義孝辞任(3・7)、土浦の基督友会に移る	山室軍平『平民之福音』(10・19)	改正条約(治外法権撤廃、内地雑居7・17)

年	日本同盟同盟教団	日本のキリスト教会	日本の社会
	大島(波浮)で最初の洗礼式、秋広伝之助ら6名(4・1)		文部省訓令十二号(8・3)
	船津町大火、ベルグストロム活躍(5・6)		義和団事件(～1901)
	高山同盟教会(三之町)献堂(6・？)。ベルグストロム夫妻一時帰国、後任にH・アン		
	田丸源次郎、青山学院神学部で学ぶため上京(10・)		
	A・ダニエルソン、アームストロングと結婚		
1900	アームストロング夫妻(1・26)帰国のためアウレル夫妻再来日(2・16)、田丸源次郎協力	津田梅子・女子英学塾開校	治安警察法公布(3・10)
	M. ジョンソン(2・28)、E・バークランド(3月末)帰国		
	ベルグストロム夫妻再来日(初夏)、幕張・千葉で伝道		
	H・アンダーソンの弟、ヨエル・アンダーソン来日(10・21)、高山に着任(11・9)		
	A・J・ピーターソン一時帰国(11・3)、鎌倉の伝道はメソヂスト鎌倉教会(日本基督教団鎌倉教会)が継承		
	ベルグストロム千葉町に移転(12・11頃？)、協力者は武田佐平		
1901	土肥貞次大島(波浮)上陸(1・26)	20世紀大挙伝道開始	社会民主党結党・即日禁止
	千葉でベルグストロムによる最初の洗礼式(竹山安太郎夫妻、5・26)		
	須永徳太郎大島伝道開始(9・)		
	アウグスト・マッソン夫妻来日(10・14)	植村・海老名のキリスト論論争	田中正造天皇に直訴(12・10)
	スウェーデンS.A.Mからゴッドフリード・エリクソン・ティラー来日(10・26～1903・4)		
	A・J・ピーターソン再来日(12・30or11・)		
1902	マッソン夫妻大島上陸(1・12)、この年の受洗者24人		
	在日本同盟基督協会宣教師社団法人設立申請(6・4)	第11回福音同盟大会で海老名弾正除名(4・11)	
	セットランド帰国(6・6)		
	織田造、ティラー、高山協会の組織化開始		日英同盟締結(1・30)
	この年、宣教師11(含夫人、一時帰国者)、日本人正教師1、伝道師5、バイブルウーマン1、会員数約200、教会1、講義所8、総資産1500円、日曜学校5、生徒110		
1903	土肥貞次、大島(元村)に定住伝道開始(1・8)		
	高山教会第一回総会、執事4人を選出(1・12)		
	フランソン再々来日(3・16～10・)、東京、大島で伝道、大島でマッソン、須永徳太郎、土肥貞次に按手(4・30)。群馬、新潟、東北、北海道、名古屋、京都、大阪、岐阜、岡山、熊本、愛媛ので伝道ののち朝鮮へ		
	テイラー帰国(4月頃)		
	高山で津田亀次郎町長家族ら17人受洗(5・21)		
	高山で眞嶋(日面)リキ受洗(9・27or5・21)	各派共通『讃美歌』刊行(11・16)	国定教科書制度確立(4・13)
	須永徳太郎により伊東伝道本格化(10・)		
	アウレル退団(10月頃)、米国聖書協会へ	バックストンら日本伝道隊結成	『平民新聞』創刊(11・15)
1904	田丸源次郎退団(1・)、日本基督教会両国教会へ		
	日本同盟基督協会宣教師団法人設立(7・14)		
	千葉町同盟基督教会献堂(7・17)	東京神学社設立(11・3)	日露戦争(宣戦布告2・10)
	古川町大火(8・25)により古川に土地取得		
	ピーターソン美濃八幡から千葉へ		第一次日韓協約(8・22)
1905	ベルグストロム本所・船橋・千葉で大挙伝道(1月中旬)	日本組合基督教会・日本基督教会、ミッションから独立	夏目漱石『吾輩は猫である』(1・)
	人口5千人の大島では6ケ村に信徒100人・マッソン		日本海海戦(5・27～28)
	伊東で教役者会(8月)		

年	日本同盟同盟教団	日本のキリスト教会	日本の社会
	小梅町教会・ベルグストロム宅焼討(9・6)、本所松倉町の講義所(星野房次郎)も内部破壊 古川教会献堂、初代牧師須永徳太郎大島から赴任	下谷、浅草、本所、両国などのキリスト教会堂破壊焼却される(9・5～6)	ポーツマス講和条約(9・5)、日比谷焼き討ち事件 第二次日韓協約(11・17)
1906	小林恭平伊東に、真島慶三郎深川猿江町に赴任(1・) 杉本光平が千葉協会赴任(3・28)、武田佐平は波浮に赴任、同年11月岩国日本基督教会講義所に転任 A.ストーン来日(病のため短期で帰国) 古川で最初の洗礼式森兼次郎ら4人(6・3)	ニコライ大主教に叙任(4・6) 第12回福音同盟会大会、海老名弾正復帰(5・2～5)	日本社会党結党(2・28)
1907	年初か前年H・アンダーソン帰国、M・アンダーソン来日 伊東講義所認可(3・20)、伊東にマッソン赴任(11・16) 同盟協会第一回伝道(4・18～20)、聴衆2,426人、決心者151人。説教者24人 ミッション中野教会現在地を購入(11・30)宣教開始	万国学生基督教青年大会(4・7) 救世軍ブース来日(4・16～24) 日本日曜学校協会設立(5・10) 日本メソジスト教会設立(5・22)	小学校令改正(義務教育6年) 第三次日韓協約(7・24)
1908	千葉教会吾妻町に献堂式(5・10) フランソン、コロラド州アイダホで召天(8・2)。 中野に真嶋慶三郎(11・)、新島に関口為吉赴任(11・13)	『家庭之友』、『婦人之友』と改題(1・20) 中田重治・東洋宣教会総理(5・10)	第一回ブラジル移民(4・28) この年失業者80万人
1909	中野に会堂兼宣教師館完成(5・)し、ミッション本部は中野に移転(7・28) 千葉でミッション年会(9・15～22)	開教五十年記念大会(10・5～10) この年、救世軍の社会鍋始まる	日糖疑獄事件(4・11) 伊藤博文暗殺(10・26)
1910	日面リキ同盟初の婦人伝道師として高山に赴任(4・) 本所同盟協会廃止、礼拝も中野に移動(9・10)	世界宣教会議エディンバラで開催(6・14～23) この年、ナザレン教団シュノールト来日	韓国併合条約(8・22) 朝鮮総督府設置
1911	新島協会認可(3・22)、この年会堂建築 大島元村協会認可(3・23) 杉本、ベルグストローム、ピーターソン、マッソンによる東北、北海道(アイヌにも)伝道(4・4～5週間) 中野協会で同盟協会修養会(三谷種吉5・18～21) 伊藤悌二が三宅島伝道開始(7・13)	富士見町教会で大石誠之助遺族慰安会(1・28) 徳富蘆花、第一高等学校で「謀反論」講演(2・1) 日本組合基督教会「朝鮮伝道に関する宣言」(6・1) 日本基督教会同盟設立(12・19)	大逆事件(1・24) 日米新通商航海条約(2・21) 朝鮮で土地収用令制定(4・17) (中国)辛亥革命開始(10・)
1912	杉本光平・ピーターソンが朝鮮伝道旅行	三教会同(2・25)	明治天皇没(7・30)
1913	C・E・カールソン来日(9・27) 伊東で秋期霊性修養会(笹尾鉄三郎10・2～6)	文相・キリスト教代表者官邸招待(11・4)	文部省宗教局設置？
1914	清水鉱治が新島に赴任(5・14) 大井蝶五郎が茂原に赴任(5・)	全国協同伝道開始(3・1～3年間) 笹尾鉄三郎没(12・30)	第一次世界大戦勃発(8・23) 青島陥落(11・7)
1915	中野町小下協会献堂(4・11) 中野でミッション年会・修養会(4・13～18)、土肥貞次が船津、奥村貞友が高山、牛丸摠五郎が元村に赴任	全国協同伝道名士招待会(帝国ホテル3・13) 全国基督教徒御大典奉賀式(同志社11・11)	対華二十一ヶ条要求(1・18) 第一回全国中等学校優勝野球大会(8・18)
1916	高山の奥村(5・1)、古川の須永辞任(5・2) 「日瑞同盟協会」を「日本同盟基督協会」に改称 マッソン一家帰国(6・1) 日本伝道隊の梶山景盛が高山に赴任(7・) 中野で同盟協会伝道開始25周年記念伝道(11・1～3)	吉野作造の言論活動盛んに行われる	戦時特需景気 河上肇「貧乏物語」連載(9・11～12・26)

年	日本同盟同盟教団	日本のキリスト教会	日本の社会
1917	日本伝道隊の斧山倉一が古川に赴任(5・14) 伊藤の佐野秀生が熱海に(5・)、三宅島の伊藤が伊東に赴任(6・)、牛丸が大島を辞し(7・31)三宅島・大島無牧となる。眞嶋が高山、梶原が中野に赴任(11・10)	全国協同伝道終了(7・30) 改訳新約聖書刊行(10・5)	友愛会による室蘭日本製鋼所スト(3・14) ロシア2月革命。レーニン、ソヴィエト政府樹立(11・7)
1918	千葉協会献堂(1・6)総工費は1万円 梶原が中野辞任、東洋宣教会の小出朋治が着任、関清治の辞任で下呂伝道中止	内村鑑三・中田重治・木村清松再臨運動(1・6～) 東京女子大学開校(新渡戸稲造4・30)	シベリア出兵(8・2)、米騒動(8・3) ドイツ革命(皇帝退位し共和制11・)
1919	古川の斧山辞し、須永が再赴任(1・16) 警監ミッション本所亀沢町集会が加入するも消滅	日本基督教会同盟三・一独立運動調査団派遣(5・19) 救世軍本営神田に開館(11・11)	(韓国)三・一独立運動、(中国)五・四運動 ベルサイユ条約(6・28)
1920	伊東講義所、伊東同盟基督協会となる(1・14) 伊東が退職し小出が伊東に赴任(4・29)、高山の眞嶋が中野に赴任(5・9)、松田政一中野教会伝道師(7・4) C・E・カールソン日本ミッション代表となる(6・16)	同志社大学設立(4・15) 賀川豊彦『死線を越えて』(10・3) 東京で第8回世界日曜学校大会(10・14)	国際連盟成立(1・) 市川房枝ら新婦人協会結成(3・28)、日本最初のメーデー(5・2) 高畠素之訳『資本論』第1巻(6・)
1921	中野で春季聖会(三谷種吉、秋山由五郎(3・19～21) 斧山が稲取を辞し石堂松之助が赴任(4・)、朝倉福太郎が大島元村に赴任(5・8) 中野でミッション年会を各協会の負担により日本同盟基督協会年会準備のため開催(10・28～11・2)、小出辞任し、同胞教会の喜久田虎雄が伊東に赴任	矯風会矢島楫子を太平洋軍縮会議に派遣(9・30)	原敬首相暗殺(11・4)
1922	SAM資金難で教会自立を迫られる 第一回日本同盟基督協会年会・年会規約制定		ワシントン海軍軍縮条約(2・6) イタリアでファシスト党 日本共産党結成
1923	ベルグストロム再来日 関東大震災で熱海教会流失	日本基督教連盟成立	関東大震災(9・1)
1924	第二回年会、日本基督教連盟加入	全国教化運動開始	婦人参政権獲得期成同盟
1925	第三回年会、清水鑛治、上島時之助召天	植村正久没、矢島楫子没	治安維持法公布(4・22) 普通選挙法公布(5・5)
1926	第四回年会、ベルグストロム帰国、SAM代表ピール来日	宗教法案反対運動	労働農民党結党(杉山元治郎) 社会民衆党結党(安部磯雄) 大正天皇没(12・25)
1927	中野教会炎上(再建) 高山で賀川伝道	賀川・杉山農民福音学校 高倉徳太郎『福音的基督教』	金融恐慌、第一次山東出兵 宗教法案審議未了
1928 昭和1)	第五回年会、伊東教会献堂、高山教会改築完了	基督教連盟「社会信条」(11・2)	普通選挙実施(2・20) 張作霖鉄道爆破事件(6・4) 治安維持法改正(6・29) 全県警察に特別高等課(7・3) 内務省思想係検事設置(7・24)
1929	第六回年会、船津教会献堂。松本廣伊東教会赴任	宗教団体法案反対運動 信教自由基督教教会同盟(7・5)	世界恐慌始まる

年	日本同盟同盟教団	日本のキリスト教会	日本の社会
		基督教連盟「神の国運動」宣言	
1930	第七回年会、各地で伝道集会	「神の国運動」開始(3年間) 内村鑑三没(3・28) 日本神学校開校(4・11) 「神社問題に対する進言」(5・28)	ロンドン軍縮条約(4・22) 台湾で霧社事件(10・27) 浜口雄幸首相暗殺(11・14)
1931	第八回年会、新島教会改築	改訂『讃美歌』(12・10) 基督教海外伝道協会(小崎弘道)	昭和恐慌 満州事変(9・18)
1932	第九回年会、宇佐美教会献堂、吉浜伝道開始	熊野義孝『弁証法神学概論』 連盟「時局に関する進言」(4・15) 基督者学生運動(SCM)分裂 上智大学神社参拝拒否事件(12)	上海事変(1・28) 満州国建国宣言(3・1) 五・一五事件
1933	第十回年会、ピーターソン帰国	日本聖書信仰連盟(中田重治) 中田重治監督解任(10・26)	ヒトラー首相に就任 国連脱退(3・27) 滝川事件(4・22)
1934	第十一回年会、ピーターソン・眞嶋慶三郎召天	高倉徳太郎没(4・3) 渡瀬常吉『日本神学の提唱』8・25	文部省に思想局設置(6・1) 室戸台風(9・21)
1935	第十二回年会、伊豆修養会	今泉源吉『みくに』創刊(1・1) 同志社講武館に神棚設置(8・)	美濃部達吉、天皇機関説事件 国体明徴声明(8・3) 大本教、第2次不敬事件(12・8)
1936	第十三回年会、リーベンゼラ合同、熱海・菊名教会献堂 SAM年会は名称変更案を可決するも1949年まで保留	矢内原忠雄『民族と平和』(6・26) ホーリネス教会分裂(10・19)	二・二六事件 西安事件
1937	第十四回年会、「都市伝道促進が必要であるが、農村伝道を大切にしよう」という原則確認 杉並教会・元村教会献堂、ラーソン来日	同志社総長勅語誤読事件(2・11) ヘレン・ケラー来日(4・15) 連盟「支那事変ニ関スル声明」11・ 矢内原忠雄東京帝大辞職(12・4)	文部省『国体の本義』(5・31) 日中戦争(7・7)南京大虐殺 朝鮮人に「皇国臣民の誓詞」
1938	第十五回年会。伊豆修養会	大阪憲兵隊質問状事件(3・3) 朝鮮長老教会神社参拝決議	国家総動員法公布(4・1) 東亜新秩序建設声明」(11・3)
1939	第十六回年会(10・13～14 伊東)。市川教会設立？	宗教団体法成立感謝晩餐会(4・6) 明石順三ら灯台社の91名検挙 東亜聖化同盟(11・3)	宗教団体法成立(3・23) ノモンハン事件(5・12) 第2次世界大戦(9・3)
1940	第十七回年会(10・8～10 国領憩の家)、創立50周年、日本聖化教団合同に向け解散をミッションから独立、財産は日本同盟基督協会維持社団管理、23教会・信徒1448人 第一回教会合同準備委員会(10・18)に松田政一が参加 日本聖化教団に向け四派合同大会(11・7 大坂自由メソヂスト神学校) 各教会一斉に伝道開始50年記念礼拝と感謝会(11・17)、T・ピーチ帰国(12・28)	教団認可基準(50教会、5000信徒) 救世軍スパイ事件(7・31) 皇紀2600年奉祝全国基督教信徒大会(10・17)	宗教団体法施行(4・1) 日独伊三国同盟(9・27)
1941	日本聖化基督教団創立総会(4・14～20)自由メソヂスト教会・日本ナザレン教会・世界宣 日本基督教団創立総会(第八部、総理土山鐵次。旧同盟は松田政一・遠藤六一が出席	遣米平和使節団(4・5) 日本基督教団創立総会(6・24～25 富士見町教会)	国民学校令(3・1) 文部省『臣民の道』(7・21)

年	日本同盟同盟教団	日本のキリスト教会	日本の社会
	A・ラーソン(1・4)、J・アンダーソン(1・31)、米系宣教師全員帰国(独のE・ラング、B・ブッ C・ノートヘルファー残留、のち軽井沢に軟禁)	日本基督教団設立認可(11・24)	太平洋戦争(12・8)
1942	川邊貞吉、土山鐵次、諫山修身、喜田川廣「、松田政一が八部諸教会で伝道(5・6～) 旧ホーリネス教会弾圧(6・26)、安藤仲市・吉持久雄も検挙 波浮教会献堂(7・)、同教会を会場に大島夏季修養会(7・4～7)	富田満教団統理伊勢神宮参拝(1・11) 旧ホーリネス系教会弾圧(6・26) 教団教師練成会(6・1～6、9・22～25) 教団「戦時布教指針」(10・10) 教団国民儀礼実施通達(12・10)	日本軍マニラ占領(1・2) 日本軍シンガポール占領(2・15) ミッドウェー海戦(6・5)
1943	白川藤太郎、木下弘人、安斎政威、泉谷信造、羽田貞子が正教師に任職(3・31) 教師練成会(7・8部中心)に松田政一、野村徳次、志村静雄が参加(8・24～28) 第2回総会「愛国機献納献金」を可決(11・24～25)	日本基督教団部制廃止実施(4・1) 旧ホーリネス教会に解散命令(4・7) 聖旨奉戴基督教大会開始、全国17ヵ所(4・15～7・) 『興亜讃美歌』(	ガダルカナル島撤退開始(2・1) 山本五十六元帥戦死(4・18？) 学徒出陣壮行会(10・21)
1944	徴兵・徴用・疎開で集会困難となる(中野教会礼拝27人程) 日本基督教団教師勤労動員のため銀座教会で壮行会(7・7) O・C・グラウアー召天(8・26、SAM創立者、Missionary Broadcaster編集長、フランソン伝 教団総会不開催通知(11・20)	小野村林蔵神宮不敬等で検挙(4・9) 教団「決戦態勢宣言」発表(8・14) 「日本基督教団より大東亜共栄圏に在る基督教徒に送る 書簡」(10・20)	サイパン島玉砕(6・5) 東條内閣総辞職(7・18) グアム島玉砕(7・21) 東京初空爆(11・24)
1945	強制建物疎開(1・大井、3～4・中野)、空襲焼失(5・25中野、7・7千葉通町) 堀田富三(高山)、向山自助(熱海)出征。沖縄戦で林兵吉(杉並)戦死。 杉本光平隠退(7・)、白川藤太郎(大島元村)辞任 相澤良一、日本基督教専門学校を卒業し大島元村教会に赴任(9・) 白川藤太郎、大島波浮教会に戻る(10・14)	日本基督教団朝鮮教団(7・29)原爆で浦上天主堂崩壊 「終戦と教団」(8・28) 教団戦後対策委員会、総懺悔更生運動開始(8・31) 宗教団体法廃止、宗教法人法発令(2・28)	東京大空襲(3・9) 米軍沖縄上陸(4・1) 広島原爆投下(8・6) 長崎原爆投下(8・9) ポツダム宣言受諾(8・14) 戦争終結の詔勅放送(8・15) 賀川豊彦、東久邇内閣参与(9・15)
1946	ラング軟禁解除で横浜に戻る。菊名教会で旧同盟協会 教職者会(5・20)、カールソン再来日(10・15)	日本基督教団「全日本へ基督ヲ」運動開始(6・7) 日本基督教団、新教憲教規制定(10・15～16)	天皇、人間宣言(1・1) 日本国憲法公布(11・3)
1947	菊名教会で宣教師と旧同盟協会年会(6・26菊名) ピーチ、デカンプ、フォスベルク、デゲルマンら10名来日 D.ジョンソン総理来日(8・8)	日本ホーリネス教団設立(2・11) 片山哲による社会党内閣発足(6・1) 日本ナザレン教団設立(11・4)	労働運動活発化 教育基本法(3・31) 日本国憲法施行(5・3)
1948	G.W.ラウら12名来日。リーベンゼラからブッス、ノートフェルファー加盟。 旧同盟協会年会(5・11～12菊名)決裂。 教団残留教会の会合(6・22～24伊東教会)。 第1回教団総会(10・12～14逗子麗翠館)理事長カールソン、教憲制定	米国外国伝道協会、対日布教五カ年計画発表(3・4) 日本基督教協議会結成(5・4)。ヘレン・ケラー来日(8・28)	極東軍事裁判(11・12)
1949	K.マクビティら33名来日。SAM、ゼ・エバンゼリカル・アライアンス・ミッション(TEAM)と改称 第2回教団総会(11・10～12国領憩の家、8～10日教役者修養会)理事長ラウ。 教団残留諸教会、福音同盟会設立(4・28～30) 『世の光』復刊第1号(8月、定価2円)	東京神学大学設立(3・25) 東京基督神学校設立	GHQ、1ドル360円の為替レート設定(4・23) 中華人民共和国成立(10月)
1950	宣教師来日47名来日(内18名は中国から転任) 中野教会献堂(2・19)、同盟聖書学院開校(世田谷区北沢の本部、1期生7人、4・11) いのちのことば社設立(10・14) 第3回教団総会・修養会(10・16～18国領憩の家、・14TEAM総会)車田秋次、議長松田政一・日本人理事5名	ラクーア音楽伝道団来日(6・21～12・8) 日本基督教団「キリスト教平和宣言」(11・10)	マッカーシーの赤狩り 朝鮮戦争勃発(6・25) 警察予備隊令(8・10) 特需景気、レッドパージ閣議決定(9・1)

年	日本同盟同盟教団	日本のキリスト教会	日本の社会
1951	D.マーチンら44名来日。福音同盟会頓挫(5・18)。 宣教60周年記念伝道(7・13～14登戸)・聖会(7・25～28高山) 第4回教団総会(10・30～11・1国領憩の家)、宣教師団『日本宣教区に於ける原則と指 『世の光』(12月29号、ミッション補助打ち切で定価5円)	日本福音連盟創立総会(5・8) 日本基督教会設立(5・23) 矢内原忠雄東京大学総長に選出(12・14)	宗教法人法(4・3) サンフランシスコ講和条約(9・8) 日米安全保障条約(9・8)
1952	臨時総会(6・24～26国領憩の家)D.E.ホークら35名来日。 宗教法人「ゼ・エバンゼリカル・アライアンス・ミッション(日本同盟基督教団)」設立(8・1世 聖書学院下高井戸に校地(9・15献校式、2千坪) 第1回松原湖バイブルキャンプ(6回、154名、テントで開催～59)J.ショーン、P.チェンバレン 盛んな天幕伝道(新潟、中野古河9・9～28、等々力、荏原など)	国際ギデオン協会日本支部第一回全国大会(9・27～28 日本基督教団「平和に対する声明」(12・9)	サンフランシスコ講和条約発効(4・28)、GH Q廃止。 血のメーデー事件。
1953	第5回(※議事録は第4回)教団総会・修養会(春に開催4・7～10聖書学院)小島伊助、現 教会数27(東京・横浜11、東部6、中部10) J.アンダーソン召天(12・14、在日1900・10～1941・1)	国際基督教大学創立(4・1) ユース・フォー・クライスト大会(8・9～16)	NHKテレビ放送開始。 朝鮮半島休戦協定調印。
1954	旧同盟の財産を管理する基督教上ノ原社団解散(2・27) 修養会・臨時総会(4・7～10聖書学院)車田秋次・穐近祐・野畑新兵衛、C.E.カールソン 松原湖畔で婦人部修養会(8・9～11、松原湖) 教師修養会(10・5～7、箱根、32名)	NCC宣教百周年記念運動東京宣言大会開催(3・24) 日本聖書協会『口語訳新約聖書』出版記念感謝会(4・1 日本基督教団讃美歌委員会『讃美歌』出版(12・1)	ビキニ環礁水爆実験で第五福竜丸被爆 原水爆禁止平和宣言 防衛庁設置 ジュネーブ協定調印。 仏領インドシナから仏軍撤退 青函連絡船洞爺丸遭難
1955	第6回教団総会・修養会(議事録は第5回3・29～31聖書学院)星野榮一・大江信 総会・日本人総会を併設。松原湖バイブルキャンプ(7・25 ～8・25)。日本クリスチャン・カレッジ(JCC)設立.	日本聖書協会『口語訳旧新約聖書』完成感謝式典(4・1	ワルシャワ条約機構設立 第一回原水爆禁止世界大会 社会党統一大会 自由民主党結成
1956	臨時教団総会・修養会(3・26～29JCC)小原十三司・蔦田二雄、総会毎年開催を決定。 戦後初の按手礼、鋤柄和秋・中塚年子。生越實造、鋤柄熊太郎召天	ビリー・グラハム来日(2・18～22)	中野好夫「もはや戦後ではない」(文芸春秋) スターリン批判始まる 日ソ国交回復共同宣言 日本、国連に加盟 神武景気が始まり、高度成長期に突入
1957	第7回教団総会・修養会(3・25～28JCC)織田金雄、按手:伊藤惣喜、河村迪男、辻浦 定俊、保坂松蔵、丸山俊二、若狭正一。 TEAM本部大会に松田政一を派遣(4・8～9・5) 婦人ホーム「憩いのみぎわ」(生田ホーム)献堂(11・17)	NCC「原水爆禁止に関する声明」(3・5)	日本、国連安保理事会非常任理事国に当選
1958	第8回教団総会(3・25～28JCC)D・マーチン。按手:菊池良市、森川昌芳、川田文子、岡	日本福音連盟『聖歌』献呈礼拝(11・30)	文部省、小中学校で道徳教育 実施要綱を通達。 売春防止法制定。 特急こだま号開始。
1959	第9回教団総会(3・31～4・3JCC)羽鳥明 宣教百年記念青年修養会(8・4～7館山バイブルキャンプ) 中野教会に教団本部事務所完成(9・20) 伊勢湾台風見舞金45,324円を被災教会に送る。	ワールドビジョン大阪クリスチャン・クルセード(5・12～6・ 東京クリスチャン・クルセード(9・4～9・30) NCC主催宣教百周年記念大会(11・1～7)	キューバ革命 NHK教育テレビ開始。 伊勢湾台風。 日米安保改訂阻止デモ。

年	日本同盟同盟教団	日本のキリスト教会	日本の社会
			岩戸景気
1960	第10回教団総会(4・5～7JCC)40教会、同盟信徒会会則(4・7) 松原湖バイブルキャンプに恒久施設(カマボコ型キャビン)、キャンプ委員会設置 伝道集会年間114回(天幕17、教会60、その他95)	プロテスタント聖書信仰同盟結成(2・23～24) 賀川豊彦没(4・23)	新安保条約騒動 米国ケネディ大統領就任
1961	第11回教団総会・聖会(3・21～24JCC)車田秋次・松田政一 創立七十周年記念大会(3・23代々木東医健保会館) 「世の光」特集記事「開拓精神と協力精神、僻地伝道を看板としつつ都市伝道へ方向転換」。松田政一入院	日本社会党委員長に河上丈太郎(3・3) ワールドビジョン、東京クルセード(5・6～6・4)	米国キューバと断交 ベルリンの壁封鎖 ソ連有人宇宙飛行成功
1962	第12回教団総会と聖会(3・28～30JCC)本田弘慈、松田議長病欠のため安藤仲市副議長 中野教会後任牧師に木下弘人 中野島教会はリーベンゼラ・ミッション本部となり教会は離脱、後藤茂光退団	第二バチカン公会議開始(10・11)	東京、一千万都市に キューバ危機
1963	第13回教団総会(3・13～15JCC) JCC国立に移転(4・9)。C.E.カールソン召天(5・31)		
1964	第14回教団総会(4・6～9国立JCC)国外宣教部設立 教団代表役員(理事長)、宣教師から日本人総会議長に変更(松田政一)	三浦綾子『氷点』連載開始(12・9～65・11・4) 本田弘慈、東京福音クルセード開催	東京オリンピック 東海道新幹線開業 OECDに加盟 新潟大地震 ベトナムでトンキン湾事件
1965	第15回教団総会(4・6～9JCC) ノートヘルファー夫妻帰国(在日36年)	第二バチカン公会議閉幕	ベトナム北爆開始
1966	第16回教団総会(4・1～4TCC)総会議長安藤仲市、計画伝道を表明 宣教75周年記念大会。松原湖バイブルキャンプ25周年 東京キリスト教短期大学(TCC、4・1) 安藤仲市沖縄訪問(6・)、松田政一台湾訪問(10・1～31)	アジア福音信徒大会(5・25～28韓国)に日本から100余 紀元節復活に反対するキリスト者の決起集会	ビートルズ来日 中国で文化大革命開始 建国記念の日(2月11日)決定
1967	第17回教団総会(4・4～7TCC)第1次5ヵ年計画、ブロック制設置、副議長木下弘人。教団事務所、豪徳寺移転	「第二次大戦下における日本基督教団の責任について 白」(3・26)。ビリー・グラハム国際大会(10・20～29)	美濃部亮吉、東京都知事に当選(4・18) 吉田茂国葬(10・31)
1968	第18回教団総会(4・2～5TCC) 第1回伝道局及びブロック長会議(5・27～29)	日本福音同盟(JEA)創立総会(4・29) WCC第4回大会(ウプサラ7・4～19)	大学紛争、キリスト教主義大学にも広がる 明治百年記念式典(10・23)
1969	第19回教団総会(4・9～11TCC)、新潟の7教会加入	沖縄キリスト教団・日本基督教団合同(2・25)	アポロ11号月面着陸
1970	第20回教団総会(4・7～10TCC) 教会学校部、教師養成講座全国研修会(7・22～24) 教団創立記念日を制定(10・1)	東京神学大学、機動隊導入(3・11) 福音主義神学会設立(4・29) 焼討事件謝罪委員会の募金により堤岩教会再建(9・22)	万国博覧会(3・14～9・13吹田市) 赤軍派、日航機よど号をハイジャック(3・31) 日米安保条約自動延長(6・22)
1971	第21回教団総会(3・23～25TCC) 宣教80周年記念大会(3・25山一証券ホール)	いのちの電話、東京に開設(10・11)	津地鎮祭違憲判決(5・14名古屋高裁) 沖縄返還協定調印(6・17)
1972	第22回教団総会(4・3～5中野教会)	共同訳聖書作成発表(7・6)	冬季オリンピック札幌開催

年	日本同盟同盟教団	日本のキリスト教会	日本の社会
	牧師役員研修会(11・13～16天城山荘)	青山学院、神学科の学生募集停止を決定	沖縄返還(5・15)
1973	第23回教団総会(3・20～22TCC)	日本基督教団第17回総会、4年ぶり開催	金大中氏拉致事件(8・8)
1974	第24回教団総会(3・20～22TCC)。松田政一召天(3・8) 布施恒夫高槻聖書赴任(75年、吉持章茨木聖書・馬場靖松原聖書赴任)	JEA第1回日本伝道会議(6・3～7京都) ローザンヌ世界伝道会議(7・16～25)	朴大統領狙撃事件(8・15)
1975	第25回教団総会(3・25～27TCC) 護得久香宣教師を台湾に派遣(12・13)	日本聖書協会100年記念集会(9・15)	ベトナム戦争終結(4・30) 三木首相靖国神社参拝(8・15)
1976	第26回教団総会(3・23～25TCC)理事長岡村又男 靖国問題委員会、教団史編纂委員会設置。 85周年訪米親善旅行団(7・27～) 松原湖バイブルキャンプ年間参加者2,395名(夏1,842名)、委員長・ディレクター岡村又雄男、主事近藤秀夫 清野勝男子宣教師夫妻をインドネシアに派遣(10・13)	日本基督改革派教会30周年記念宣言(4・28～29)	カンボジアにポルポト政権(4・13) ロッキード事件(田中前首相逮捕7・27) 石原謙(7・4)・森有正(10・18)没
1977	第27回教団総会(3・22～24箱根地塩苑)第3次5カ年計画。鈴木教子宣教師カナダに派遣(4・15) 高崎開拓伝道開始(4・3高崎福音キリスト教会) 同盟生田ホーム献堂式(7・19) 松原湖バイブルキャンプ、アウトキャンプ開始	第1回アジア神学協議会(3・14～20マニラ) 青山学院、神学科廃止(3・30) 日本基督教団福音主義教会連合結成(4・28～29)	文部省、小中学校新指導要領で「君が代」を国歌と規定(7・23)
1978	第28回教団総会(3・20～22地塩苑) 寺田由弘宣教師夫妻を台湾に派遣(7・15) 国外宣教委員長吉持章・理事下川友也、インドネシヤ・台湾訪問(10・17～28)	プロテスタント・カトリック『共同訳新約聖書』完成(9・15) NCC元号法制化に反対を声明(10・9)	新東京国際空港(成田)開港(5・20) ローマ教皇ヨハネ・パウロ2世(10・16) 大平正芳、首相に就任(12・7)
1979	第29回教団総会(3・20～22地塩苑) 理事長岡村又男・国外宣教委員長石川弘司、宣教地視察(8・6～30アメリカ・カナダ)	NCC「統一教会に関する見解の再確認」承認、統一教会線を画することを声明(1・18)	大平正芳首相伊勢参拝(1・4) 国立大学共通一次試験開始 自衛官合祀訴訟(3・22山口地裁)違憲判決 元号法公布施行(6・12)
1980	第30回教団総会(3・17～19天城山荘)理事長若狭正一 渡辺賢治宣教師夫妻をタイに派遣(3・5) 国外宣教版毎月発行、宣教師の教会群サポート制導入	東京キリスト教短期大学、日本基督神学校、共立女子聖書学院、三校合同(4・1) ビリー・グラハム来日	
1981	第31回教団総会(3・17～19天城山荘)、10ヵ年伝道計画発表 90周年記念大会(11・2～4天城山荘)10ヵ年伝道計画スタート (信徒倍増1万人、200教会、500人献身者、30人宣教師、一億円宣教基金)	ヨハネ・パウロ2世来日(2・23) マザー・テレサ来日(4・22)	中国残留日本人孤児47名發来日(3・2) 鈴木首相、首相として初めて沖縄公式訪問
1982	第32回教団総会(3・16～18天城山荘) 北九州開拓伝道開始(小倉中央教会)	第2回日本伝道会議(7・7～11京都)	フォークランド紛争(4・)
1983	第33回教団総会(3・15～17天城山荘)	お茶の水学生キリスト教会館献堂式(7・1)	東京ディズニーランド開園(4・15)
1984	第34回教団総会(3・13～15天城山荘)、謝恩年金規程を制定 国外宣教20周年記念大会(7・23～28) 松村勝美・美千代宣教師夫妻をカナダに派遣(～2001)	日本基督教団・在日大韓基督教会協約(2・8) 淀川キリスト教病院(4・7)聖隷三方原病院(5・1)ホスピス開設	

年	日本同盟同盟教団	日本のキリスト教会	日本の社会
1985	第35回教団総会(3・12～14天城山荘) 山口譲宣教師夫妻をタイに派遣 第1回伝道懇談会	日本キリスト合同教会設立(1・15)	ヴァイツゼッカー敗戦40周年演説(5・8) 中曽根首相靖国神社公式参拝(8・15)
1986	第36回教団総会(3・11～13天城山荘) 95周年記念大会	日本キリスト教婦人矯風会、「女性の家HELP」開設(3・2	土井たか子、社会党委員長就任(9・8)
1987	第37回教団総会(3・17～19天城山荘) 東広島・京都開拓伝道開始	『新共同訳聖書』(9・5)	大韓航空機墜落、金賢姫逮捕(11・29)
1988	第38回教団総会(3・15～17天城山荘)理事長斉藤篤美 中村孝宣教師ウィクリフ委託でパプアニューギニア派遣	聖学院大学、恵泉女学院大学開校(4・1) ウエスレアン・ホーリネス神学院開校(5・6)	青函トンネル開通(3・13) 瀬戸大橋開通(4・10)
1989	第39回教団総会(3・14～16天城山荘) 国外宣教25周年記念大会(7・25～28)軽井沢 鈴木敏三宣教師夫妻をブラジルに派遣～2006 千葉プレイズチャペル開拓伝道開始	東京キリスト教学園千葉移転 キリスト教諸団体、大嘗祭・即位礼に反対声明	昭和天皇没(1・7)
1990	第40回教団総会(3・13～15天城山荘) 大迫宣教師夫妻をインドネシアに派遣(～93) 高松開拓伝道開始	本島長崎市長銃撃(1・18) 東京キリスト教大学開学(4・1) 弓削フェリス女学院大学学長宅に銃弾(4・22)	東西ドイツ統一(10・3) 天皇即位の大嘗祭(11・22)
1991	第41回教団総会(3・12～14　天城山荘) 鈴木敏子宣教師を台湾に派遣～2002 浜名湖スエーデン学校不動産購入決議 TEAM宣教100周年記念大会・参加ツアー(7・11～20米国テネシー) チャレンジ'91日韓青年キリスト者交流大会(8・21～29　韓国ソウル) 宣教100周年記念大会((10・9～10日本青年館東京)、宣教100周年記念宣言、『日本同盟基督教団史第一編』発行 第42回教団総会(10・10日本青年館)、教団事務所借地権(世田谷豪徳寺)一部売却決	日本福音自由教会連盟(同盟福音基督教会、日本聖契ト教団、日本聖約キリスト教団、日本福音自由教会)(10	湾岸戦争(1・17) PKO法可決(12・3)
1992	第43回教団総会(3・10～12 天城山荘)理事長岡村又男 浜名湖レーゲルゴード発足、パプアニューギニア、ウィックリフ教育宣教・福原さゆり宣教	ウエスレアン・ホーリネス教会連合設立(3・23) 日本福音キリスト教会連合(リーベンゼラ・キリスト教会連合、日本新約教団、北海道福音教会協議会、単立キリスト教会連盟)設立(4・29)	自衛隊カンボジア派遣(9・17)
1993	在職20年以上の教師による「明日の教団を考える会」(1・24～25　日野市) 第44回教団総会(3・10～12天城山荘)、タイ宣教・松永敦子宣教師任命、在米日本人宣教・安納義人宣教師任命、教団レベル札幌開拓伝道(新札幌聖書教会) VISION 2000日韓未来指導者青年大会(8・3～7浜名湖レーゲルゴード) インドネシア宣教・大迫勉宣教師退任(8月)	日本長老教会設立(日本基督長老教会、日本福音長老(5・3)	土井たか子、女性初の衆議院議長(8・6) 非自民連立政権細川内閣(8・9)
1994	第45回教団総会(3・8～10　天城山荘)、タイ宣教・田口倫子宣教師任命、インドネシア宣教・藤田敦・真木子宣教師任命 国外宣教30周年記念誌発行(3・20) 教団事務所、パソコン導入(4月) 国外宣教30周年記念青年宣教大会(8・3～6軽井沢恵シャレー) 飛騨キリスト教会100周年記念大会(9・14～16　高山市民文化会館)		松本サリン事件(6・27) 自民・さきがけ・社会の村山連立内閣(6・30) 大江健三郎ノーベル文学賞(10・13)

年	日本同盟同盟教団	日本のキリスト教会	日本の社会
1995	46回教団総会(3・15～17　天城山荘)、教団レベル福岡開拓伝道(福岡めぐみ教会) 、ネパール宣教・吉持厳信・信子宣教師(医師)任命～2002、教団総主事導入、国外宣教主事導入 第1回タイミッションボランティア(9・8) 松原湖研修会(10・3～5　主題「戦後50年日本宣教と教会の罪責問題」)		阪神淡路大震災(1・17) 地下鉄サリン事件(3・20) 宗教法人法改正(12・8)
1996	47回教団総会開催(3・18～19　パシフィコ横浜)新理事長吉持章 フロンティア96青年宣教大会(8・6～11軽井沢) タイ宣教・松下展久・紀美子宣教師任命(～2012・3) 宣教105周年記念大会(11・18～19？　パシフィコ横浜)、宣教105周年記念大会横浜		らい予防法廃止(3・27) 民主党結党(9・28)
1997	48回教団総会開催(3・18～19　パシフィコ横浜)、インドネシア宣教・間島直之宣教師任命、ブロックレベル開拓伝道(鳥取聖書教会、港北ニュータウンチャペル) 第1回わくわくミッション台湾「こどもミッション」(8・15～22) 「祈りのネットワーク」発行(第1号　6月　国内宣教版) 国外宣教研修会(11・23～25 「中国宣教の可能性」 東京キリスト教学園)		消費税5%実施(4・1) 最高裁、玉串料公費負担に違憲判決(4・2) アイヌ文化振興法成立(5・8) 臓器移植法成立(6・17) マザー・テレサ没(9・5)
1998	49回教団総会開催(3・19～20　パシフィコ横浜)、教団レベル仙台開拓伝道(仙台のぞみ教会)、生田ホーム及び教団事務所(豪徳寺)、不動産売却決議 「祈りのネットワーク」発行(第2号　8月　国内・国外宣教版) 教団事務所移転(12月　渋谷区幡ヶ谷) 外国人教師加入についての申し合わせ(3・2)、補教師による祝祷の申し合わせ(3・2)		金大中、韓国大統領に就任(2・25) NPO法成立(3・19) 埼玉医大で日本初の性転換手術(10・16)
1999	50回教団総会開催(3・15～16　パシフィコ横浜)、補教師赴任前研修会(第1回)		脳死判定による日本初の臓器移植(2・28) 国旗国歌法成立(8・9)
2000	51回教団総会開催(3・20～22　ホテル・コンコルド浜松)理事長赤江弘之、8号議案 タイ宣教・佐久間桂宣教師補任命～2002 『聖書が教えている基本的なこと』、『聖書が教えている教会生活』発行(11・1)		介護保険法スタート(4・1) 金大中・金正日会談(6・13) ドイツ、原発全廃を電力会社と合意(6・15)
2001	52回教団総会開催(3・20～22　掛川ヤマハリゾート) 愛媛開拓開始(愛媛めぐみ教会) インドネシアGPKAI牧師2名・日本研修来日(7・27～8・9) 松原湖バイブルキャンプ宣教50周年記念誌『主の山』発行 宣教110周年宣教大会(11・22～24　ヤマハリゾート)		アメリカで同時多発テロ(9・11) 米英軍、アフガニスタン攻撃開始(10・7)
2002	53回教団総会(3・20～22　掛川ヤマハリゾート)、鈴木敏子・吉持厳信・佐久間桂派遣 スイスアライアンスミッション日本宣教50周年感謝・スイス訪問ツアー(4・22～5:9) スエーデンアライアンスミッション日本宣教50周年感謝・スエーデン訪問ツアー(5・7～ ブロック長会議(7・9～10　松原湖バイブルキャンプ) カオル・ハーベッカー(旧姓　護得久)台湾宣教師引退(10月)		情報公開法施行、学校完全5日制(4・1) 日韓共催サッカーW杯開幕(5・31)
2003	九州ブロック誕生(1月) SAM同盟伝道団50周年記念会(3・15市川福音キリスト教会) 54回教団総会(3・18～20　ヤマハリゾート)、新潟ブロック開拓伝道(新発田キリスト教		米軍、イラク攻撃開始(3・20) 日本郵政公社スタート(4・1) 個人情報保護関連法成立(5・23) 有事関連法成立(6・6)

年	日本同盟同盟教団	日本のキリスト教会	日本の社会
2004	教団機関紙総合化（1月） 55回教団総会（3・23～25ヤマハリゾート）理事長下川友也 宣教区制試行決議、斉藤五十三宣教師台湾派遣、北海道・東京11教会加入、教団レベル盛岡開拓伝道（盛岡みなみ教会） 宣教区代表者会議発足準備会(7・12～13) 松原湖バイブルキャンプ・レイクサイドシオン献堂式（7・13） フロンティア2004青年宣教大会・国外宣教40周年記念大会「世界に運ぼうJESUSミラクル」（8・17～20　松原湖バイブルキャンプ） 伝道懇談会(10・4～5　松原湖バイブルキャンプ)		イラクのサマワに自衛隊本隊到着（2・8） 北朝鮮の拉致被害者5人帰国（5・22）
2005	スマトラ沖地震被災地訪問(2・8～17) 試行宣教区、代表者会議第1回（3・15～16ヤマハリゾート） 第56回教団総会（3・16～18　ヤマハリゾート）、中国四国宣教区開拓伝道（庭瀬めぐみ 理事・局部・委員長・宣教区長連絡会議（7・12～13　松原湖バイブルキャンプ） 韓国研修ツアー「抵抗と殉教の姿勢を学ぶ」(11:7～11) 『聖書が教えている家庭生活・社会生活』発行（12・25）		
2006	第57回教団総会（3・21～23ヤマハリゾート）理事長中谷美津雄、教憲一部変更（宣教区制正式発足）、日本国憲法第9条「改正」反対声明、日本国憲法改正国民投票法案に反対する声明、鈴木敏三宣教師退任、宣教区レベル滋賀開拓伝道（近江聖書教会）、JS青年ミニストリー委員会設置 青年部ユーススプリングキャンプ（5・3～5　いわき市） 中部ジャワ地震被災地訪問（6・5～9） 「改正教育基本法」成立に抗議する緊急祈祷会（10・13～11・24　教団事務所）		
2007	ゴスペルフェスタ2007（2・12青年部東　招待キリスト教会） 第1回宣教区代表者会議（2・27　御茶ノ水クリスチャンセンター） 第58回教団総会3・21～23日（ヤマハリゾート）、教憲前文制定、「今日の国家主義的動向に対する私たちの信仰表明」発表、モンゴル宣教　矢田紫野宣教師任命 タイ・バンコク日本語教会　山口譲宣教師　派遣 国外宣教ビジョン「教会形成・アジア21、そして世界へ」発表(5・14) 2007世界宣教大会Mission Vision Passion（8・14～16神奈川県民ホール　横浜市） 第1号世界宣教カレンダー出版（8月） 教団史研究1号発行（5・1） 「かがやけ☆クリスチャンキッズ」テキスト発行（8・1） 教団名ローマ字・英語表記　Nippon Domei Kirisuto Kyodan Jpan Alliance Christ		
2008	ゴスペルフェスタ　（2・11 招待キリスト教会） 第2回宣教区代表者会議（2・26招待キリスト教会　川崎市） 第59回教団総会（3・18～20ヤマハリゾート）、福島県、茨城県8教会加入、教団レベル宮崎開拓伝道（宮崎めぐみ聖書教会） 飛騨・日本海青年キャンプ（5・4～6青年部西 聖ヶ丘バイブルキャンプ）		
2009	第3回宣教区代表者会議（2・24招待キリスト教会　川崎市） 第60回教団総会（3・17～19ヤマハリゾート）、信州宣教区開拓伝道（塩尻聖書教会）、台湾宣教　海老名浩宣教師任命 浜名湖バイブルキャンプ・新チャペル献堂(7・20)		

年	日本同盟同盟教団	日本のキリスト教会	日本の社会
2010	第4回宣教区代表者会議（2・23招待キリスト教会　川崎市） 第61回教団総会（3・16～18ヤマハリゾート）安藤能成理事長、教団退職金規定決議、女性補教師の正教師按手の申し合わせ発表、教団レベル開拓伝道（山形恵みキリスト教会）、千葉宣教区開拓伝道（上総キリスト教会）、沖縄宣教区開拓伝道（浦添ジョイ教 2010アジアビジョントリップ　ミャンマー(8・19～26)		
2011	第5宣教区代表者会議（2・22招待キリスト教会） 3・11地震対策本部設置(3・14　教団事務所)、ボランテアチーム派遣開始 「君が代」起立条例提案に対し廃案を求める声明(5・26) 第62回教団総会（10・4　松原湖バイブルキャンプ）、日高バイブルキャンプ不動産売却		東日本大震災（3・11）
2012	第6回宣教区代表者会議（2・28　国立オリンピック記念青少年センター） 第63回教団総会（3・20～22　ヤマハリゾート）、寺田由弘台湾宣教師、宣教終了(1977～2012)、松下展久タイ宣教師、宣教終了(1996～2012)　山口譲バンコック日本語教会宣教師　派遣終了(2007～2012)、ブラジル宣教　浜田献宣教師任命、教団レベル開拓伝道(光の森聖書教会　熊本)　3・11地震対策本部を震災復興支援本部に改組(4・1)宣教121周年記念大会(11・22～24 なかのZEROホール)		
2013	第7回宣教区代表者会議（2・26 オリンピック記念青少年総合センター 最終回） 第64回教団総会(3・19～21 ヤマハリゾート 教憲・教規改正および代議員総会に移行		
2014	第65回教団総会（3・20～21 晴海グランドホテル）中谷美津雄理事長、「明日の伝道者育成負担金」、田口倫子タイ宣教師退任		
2015	第66回教団総会(3・17～18 晴海グランドホテル)　震災復興支援活動終了（3・31 募金9000万円・ボランティア派遣149次）東北宣教プロジェクト開始（4・1）国外宣教50周年記念誌『教会は全地に』発行		
2016	第67回教団総会(3・15～16 IOSガーデン）廣瀬薫理事長		
2017	第68回教団総会（3・14～15 IOSガーデン）		
2018	第69回教団総会（3・21～22 IOSガーデン）		

P1 Last

P3 Last

P4 Last

P8 Last